

インフルエンザ・風邪対策に関する実態調査

受験生の家庭 8割超が「インフル対策強化した」

中高生は“マスク着用” 小学生は“アルコール消毒”

株式会社栄光(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:山本博之)が運営する進学塾・栄光ゼミナールは、2018年9月5日(水)～9月19日(水)に、インフルエンザ・風邪対策に関する実態調査を実施し、小学1年生～高校3年生の子どもを持つ保護者 692人の有効回答が得られました。

- 昨年、インフルエンザ・風邪対策を行った家庭 全体の **82.1%**
- 多くの家庭が行った対策 中高生:**マスク着用** 小学生:**手などのアルコール消毒**
- 今春に受験生がいた家庭の **81.3%** インフルエンザ対策「**例年よりも強化した**」
- 学校以外の子どもの外出先に求める対策 「**空気清浄器の設置**」が**7割超**

栄光ゼミナール調べ

<調査概要>

調査対象:小学1年生～高校3年生の子どもを持つ栄光モニター会員

(栄光ゼミナール・栄光の個別ビザビ・大学受験ナビオに通塾する保護者)

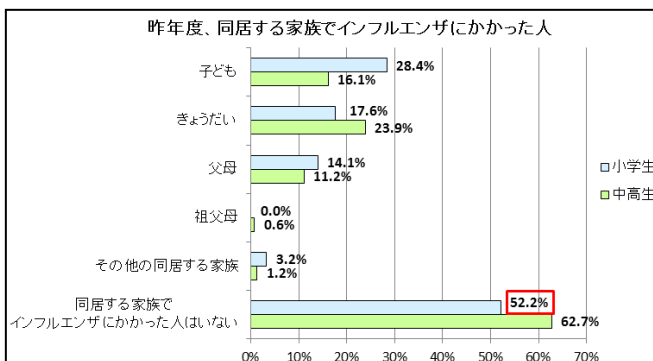
調査方法:インターネット調査

調査期間:2018年9月5日(水)～9月19日(水)

回答者数:692名(うち、小学生:370名(53.5%) 中高生:322名(46.5%))

昨年度、同居する家族でインフルエンザにかかった人はいましたか。

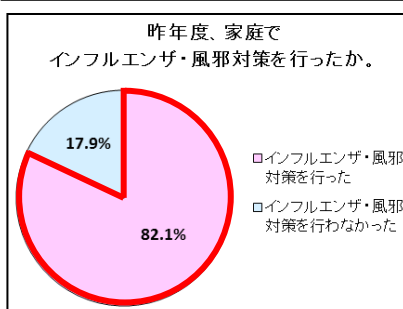
(n=692(うち小学生 370、中高生 322)、総回答数 800、複数回答方式(あてはまるものすべて))



昨年度、同居する家族でインフルエンザにかかった人を聞いたところ、小学生では「子ども」本人がかかったと回答した人が28.4%と最多、中高生では「子ども」本人よりもその「きょうだい」が最も多く、23.9%だった。同居する家族でインフルエンザにかかった人がいなかった家庭は、小学生で52.2%、中学生で62.7%だった。小学生の子どもをもつ家庭の約半数がインフルエンザにかかっている、ということが明らかとなった。

昨年度、ご家庭でインフルエンザ・風邪対策を行いましたか。

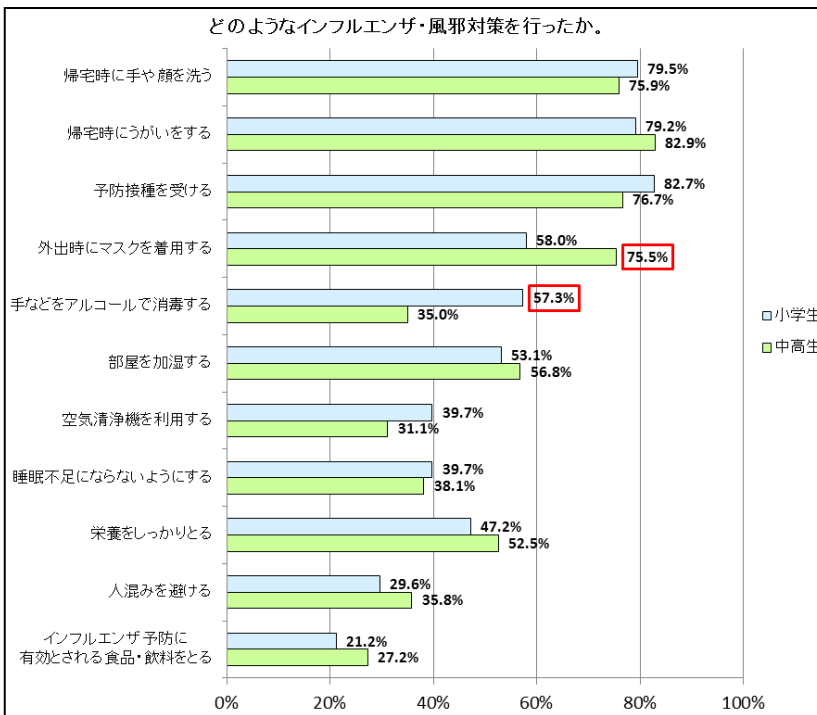
(n=692、単一回答方式)



家庭でインフルエンザ・風邪対策を行ったかどうかを聞いたところ、何らかの対策を行った家庭は、全体の82.1%だった。子どものいる家庭の大多数で、インフルエンザ・風邪にかからないような取り組みを行っていることが明らかとなった。

どのようなインフルエンザ・風邪対策を行いましたか。

(n=564(うち小学生 307、中学生 257)、総回答数 3241、複数回答方式(あてはまるものすべて))

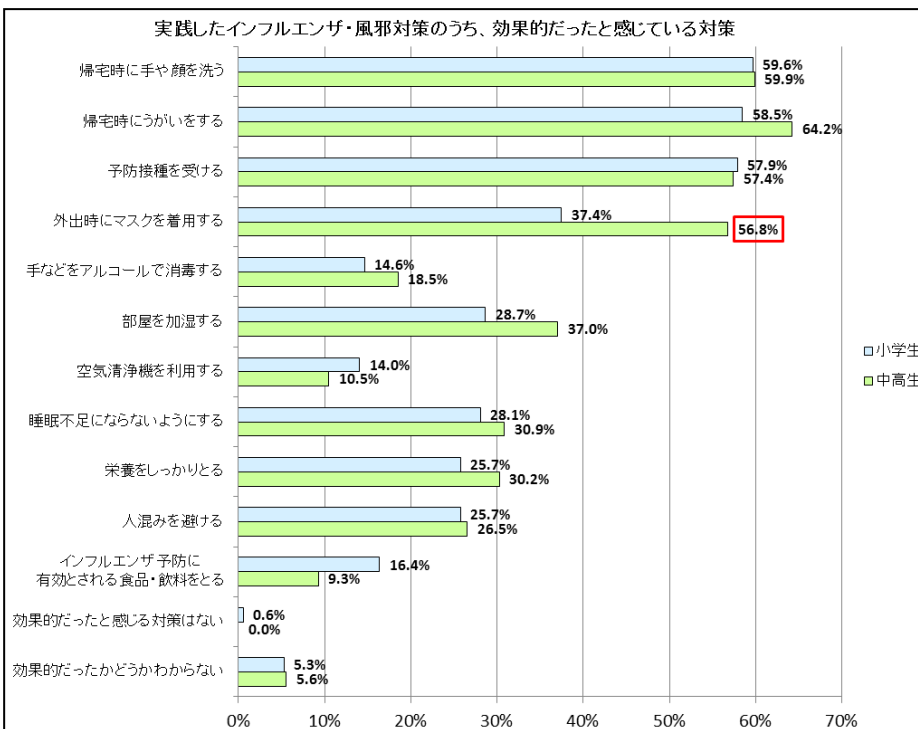


インフルエンザ・風邪対策を行った保護者に、具体的な対策を聞いたところ、小学生・中学生ともに、「帰宅時に手や顔を洗う」「帰宅時にうがいをする」「予防接種を受ける」の3つを行ったと回答した保護者が多かった。

小学生と中学生で大きく差が開いたものは、「手などをアルコールで消毒する」は小学生が22.3ポイント、「外出時にマスクを着用する」は中学生が17.5ポイント高くなった。マスクを苦手としがちな小学生でも取り組みやすい方法を、保護者は様々な工夫しているようだ。

実践した対策で、効果的だったと感じている対策は何ですか。

(n=333(うち小学生 171、中学生 162)、総回答数 1305、複数回答方式(あてはまるものすべて))



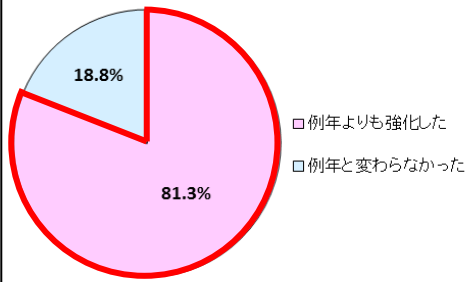
昨年度、インフルエンザ・風邪対策を行い、インフルエンザにかかった家族がいなかった保護者に、効果的だったと感じている対策を聞いたところ、「帰宅時に手や顔を洗う」「帰宅時にうがいをする」「予防接種を受ける」が小学生・中学生問わず6割以上となった。

また、中学生の多くが行っていた「外出時にマスクを着用する」について、効果があったと感じている中学生が多く、56.8%が効果的だったと回答した。

この春、受験生(受検生)がいた家庭では、例年よりもインフルエンザ対策を強化しましたか。

(n=96、単一回答方式)

【2018年春に受験生(受検生)がいた家庭】
例年よりもインフルエンザ対策を強化したか。



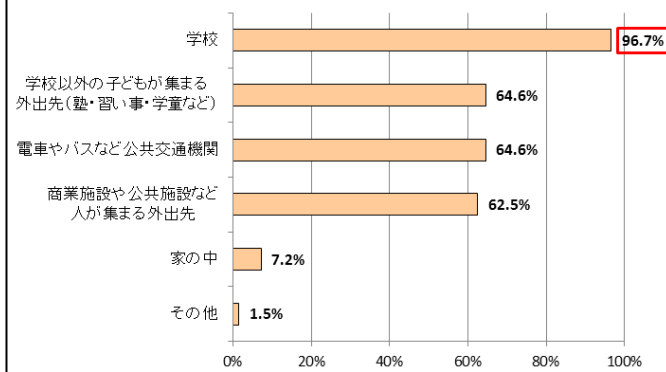
今春、同居する家族に受験生(受検生)がいた家庭に対して、例年と比べてインフルエンザ対策を強化したかを聞いたところ、81.3%が「例年よりも強化した」と回答した。

受験生(受検生)がいる家庭では、受験当日に万全の体調で臨めるようにするだけでなく、しっかりと受験勉強に専念できるよう、例年よりも対策をしっかりと行う家庭が多いと考えられる。

子どもがインフルエンザに感染する危険度が高いと思う場所はどこですか。

(n=667(うち小学生 358、中学生 309)、総回答数 1982、複数回答方式(あてはまるものすべて))

インフルエンザに感染する危険度が高いと思う場所

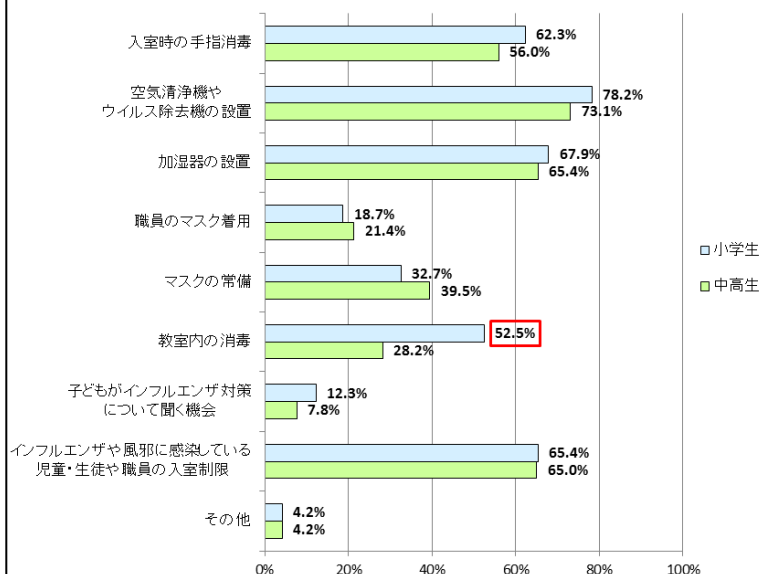


インフルエンザに感染する危険度が高いと思う場所を聞いたところ、最も多かったのは「学校」で、96.7%にのぼった。またそのほか、「学校以外の子どもが集まる外出先(塾・習い事・学童など)」「電車やバスなど公共交通機関」「商業施設や公共施設など人が集まる外出先」も6割超と、多数の人々と接する場所での感染が高いと認識している保護者が多いことがわかった。

学校以外の子どもの外出先(塾・習い事・学童など)で、どのようなインフルエンザ・風邪対策を実践してほしいですか。

(n=667(うち小学生 358、中学生 309)、総回答数 2438、複数回答方式(あてはまるものすべて))

学校以外の子どもの外出先(塾・習い事・学童など)で、どのようなインフルエンザ・風邪対策を実践してほしいか。



塾・習い事・学童など、学校以外の子どもの外出先で、どのようなインフルエンザ・風邪対策を実践してほしいかを聞いたところ、「空気清浄機やウイルス除去機の設置」が最も多く、小学生では78.2%、中学生では73.1%が回答した。同様に、「加湿器の設置」も7割弱の保護者が希望していることがわかった。「教室内の消毒」では小学生と中学生の差が見られ、小学生が約25ポイント高かった。また、「インフルエンザや風邪に感染している児童・生徒や職員の入室制限」を実践してほしいという保護者も約65%と多く、感染者との接触機会を減らして、感染を防ぎたいと考える保護者が多いことも明らかとなった。

今だから話せる「インフルエンザ苦労話」や、お勧めしたいインフルエンザ・風邪対策などが
ありましたら教えてください。

(自由回答方式)

<今だから話せる「インフルエンザ苦労話」>

- ・予防接種を嫌がる子どもに、2年連続インフルにならなかつたら予防接種をしなくていいとしたら、接種しなかった年に見事にかかり、自ら予防接種を受けると言い出すようになった。(小5保護者)
- ・ギリギリ学級閉鎖にならなかつた分、授業についていけない子が続出。塾に通わせておいて良かったと思った。(小6保護者)
- ・受験真ただ中に本人がインフルエンザに。焦ったが、ゆっくり休養できてよかったのかもしれない。(中1保護者)
- ・子どもが受験の時、気がゆるんだところでインフルエンザにかかってしまった。第一志望校では配慮いただき、無事受けることができたが、学校によっては門前払いになるので、親としては申し訳なかった。(中2保護者)
- ・高校受験直前にインフルエンザにかかり、5日間学校も塾も欠席した。本人は焦りでいっぱいだったが、たっぷり睡眠をとれたのはあの期間だけだったので、怪我の功名みたいなのもあつたかなと思っている。(高2保護者)
- ・我が家の場合、インフルエンザを持ってくるのは大抵父親。新型が流行した年は、父親が菌を家に持ち込み、家族全員が寝込んだ。いち早く回復した父親が、看病していた。(中2保護者)
- ・娘が私立高校受験を3回予定していた週に私(母)がインフルエンザに！その週は娘に接触しないようにし、娘はコンビニ弁当でしのいだ。無事に合格したからよかったが、うつした父親を恨んだ。(高1保護者)
- ・部活で剣道を始めたらインフルエンザにかからなくなった。寒いとを感じる事が減り、免疫力が落ちる事が減ったのではないかと思う。(中3保護者)
- ・去年はワクチン不足で1回しか接種できず、様々な病院で門前払いにあつた。(中3保護者)
- ・ワクチンが不足していてなかなか受けることができず、2回接種する前に感染してしまった。(高1保護者)

<お勧めしたいインフルエンザ・風邪対策>

- ・アロマがいいと聞いたので、たいていた。受験でピリピリしていたため、リラックス効果もあり良かった。(中1保護者)
- ・インフルエンザ対策には、ティーツリーがいいと聞いたので、加湿器には数滴アロマを入れている。(高3保護者)
- ・感染者にドアノブを触らせないようにし、常に消毒する。(小3保護者)
- ・乳酸菌飲料を毎日とっていると、インフルエンザにかかりにくく、また重症化しにくいのでお勧め。(小4保護者)
- ・ノドが痛い時、濃いめの紅茶に塩少々入れてうがいするといい。(中1保護者)
- ・個人的には温かい紅茶をよく飲む習慣がインフルエンザにかからない要因になっていると思う。(中3保護者)
- ・帰宅時に髪の毛の表面も拭く。保育士の方から聞いた予防法。(小4保護者)

会社概要

中学受験、高校受験対策の学習塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、高校生対象の大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等、首都圏を中心に全国 700 教室超を展開しています。生徒の学ぶ意欲を引出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。

そのほか、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室等も運営しています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目 11 番 11 号

代表： 代表取締役社長 山本 博之

設立： 1980 年7月

本件に関する問い合わせは

株式会社Z会ホールディングス広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax：03-5275-1679 Mob：070-4036-1980

メールアドレス：hiroko-okubo@zkai-hd.co.jp